

景観配慮協議申出書

2022年10月14日

13

(宛先) 鎌倉市長

住所 神奈川県横浜市栄区
公田町1020-5

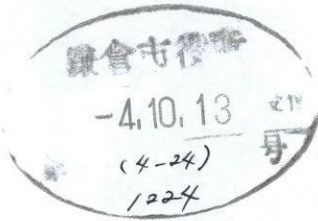
届出者 氏名 社会福祉法人 伸こう福祉会
理事長 高田益江 様

電話 045 (260) 0568

住所 東京都板橋区板橋4-47-7-2b

代理人 氏名 一級建築士事務所アンブレ・
アーキテクト 松尾宙 様

電話 03 (5944) 4883



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	公共公益施設地		
景観地区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住所	東京都板橋区板橋4-47-7-2b	
	氏名	一級建築士事務所アンブレ・ アーキテクト 松尾宙	電話 03 (5944)4883
行為の場所	地名地番	鎌倉市腰越5丁目600番1、4	
	用途地域	第一種低層住居専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行為の種類	建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特定地区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉美術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行為の期間	着手予定	2023年3月27日	完了予定 2024年2月29日

(裏)

建築物の概要	用途	保育所その他これらに類するもの				
	最高の高さ	7.12m	階数	地上2階	地下	階
	構造	鉄筋コンクリート造				
	敷地面積	1317.26㎡				
	建築面積	524.10㎡	届出以外の部分	㎡	合計	524.10㎡
	延べ面積	876.65㎡	届出以外の部分	㎡	合計	876.65㎡
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽		m	<input type="checkbox"/> その他	
	色彩の変更部分とその面積	面積 ㎡				
仕上材	屋根	カラー鋼板	色彩	屋根	ギングロ (ツヤなし) (0.6GY5.7/0.1)	
	外壁	コンクリート打放しの上撥水剤		外壁	茶色 (10YR7/1.5)	
開発行為の概要	開発区域の面積	㎡				
	行為の目的	分割 (区画)	(最小区画面積	㎡)		
	行為の内容	切土 (㎡)	盛土 (㎡)		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	周囲は緑が多い住宅地である。
まち並みの連続性	新旧の戸建住宅が混在している町並みである。
周辺建物のデザイン	2階建ての戸建て住宅が建ち並んでいるが、デザインの統一性は見られない。
眺 望 景 観	多くの緑が町並みに表出している。
景 観 資 源	緑の多い景観。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	既存腰越保育園の配置を踏襲し、環境の変化を抑えている。道路から引きをとり低層とし圧迫感を低減している。
形 態 意 匠	◎	周辺建物との調和を考慮した勾配屋根を採用し、高さもできるだけ抑えた計画としている。
色 彩	◎	周辺の緑が映え、町並みと調和した色彩とした。
建 築 設 備	◎	道路側から見えない位置に配置した。
外 構 緑 化	◎	ほとんどの既存樹木を保存する計画とし、道路側に新たに植栽を行い、町並みに貢献する計画とした。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		